ホームページでも他のセミナー詳細がご覧いただけます	(セミナーのお申込もできます)
https://www.kinyu.co.jp	

	_		1 -		
リーT	7 –1	•	77	丁	
<i>)</i> /-	JI		ت		

回覧				
----	--	--	--	--

資金決済ビジネスの潮流と資金決済法制の最新動向

藤池 智則氏 講師 堀総合法律事務所 パートナー弁護士 堀総合法律事務所 講師 パートナー弁護士

販売期間 2026年3月31日

(2025年11月11日(火)収録:約3時間)

- ■このセミナーは収録したセミナーを動画配信でご視聴いただけます。視聴期間は2週間です。
- ■参加費をお振込みいただいた後に、視聴ページ URL とログイン情報をメールでお送りします。

近時の技術進展を背景として、新たな技術を用いた新しい形での金融サービスが続々と登場しています。とりわけ、キャッシ ュレス決済の普及に伴い、資金決済に関連するサービスは急速に多様化し、多くの伝統的な金融機関以外の事業者が、消費者向 けの資金決済サービスを提供しているほか、事業者向けの資金決済サービスに拡がりの兆しが見えます。また、金融機関が、決 済サービス事業者と連携して、自らの決済サービスの普及に注力する事例も存在感を増しています。

- 方で、資金決済サービスの提供者には各種金融規制への対応が求められるところ、法規制の改正の動きが激しくなっていま す。そのため、資金決済ビジネスにおいては、各種法規制を適切に把握するとともに、これらの規制の改正動向に注意を払うこ とが肝要です。

そこで、本セミナーでは、資金決済サービスに関する金融規制の全体像を解説したうえで、各種資金決済サービスについて法 的課題とその対応策を提示するとともに、法改正の最新動向を明示して、今後の実務指針を示します。

- 1. 資金決済ビジネスへの参入のメリット
- 2. 近時の資金決済ビジネスの動向
 - (1) 資金決済サービスの更なる多様化 (2) 他の金融サービスとの複合・連携
 - (3) キャッシュレス決済の更なる浸透
 - ① デジタル給与 ② キャッシュアウト
 - (4) クロスボーダーの資金移動(国際送金サービスと越境収納代行)
 - (5) 事業者向け資金決済サービスの発展の兆し
 - ① 事業者向け送金サービス ② 支出管理サービス
 - ③ BPSP (Business Payment Solution Provider) ④ 売掛金の早期資金化
 - (7) ステーブルコインの登場 (6) 金融機関との連携
- 3. 決済サービス規制の全体像
 - (1)決済サービス規制の概観 (2)電子マネーサービス規制の全体像
 - (3)送金サービスの規制と支払決済サービスの規制の全体像
 - (4) 支払決済サービスとしての BNPL 決済に関する規制の全体像
- 4. 送金サービス
 - (1)送金サービスの規制上の位置付けとサービス構築上の留意点 (2)銀行による送金サービスと金融規制
 - (3)資金移動業者による送金サービスと金融規制(後払い方式の送金サービスと貸金業規制の関係性も含めて)
 - (4) 電子決済等代行業による送金サービスと金融規制 (5)ステーブルコインによる送金サービスと金融規制
 - (6) 在日外国人による口座開設・送金に関する留意点
- 5. 支払決済サービス
 - (1) 支払決済サービスの全体像とサービス構築上の留意点
 - (2)前払式支払手段と金融規制 (3) 即時払いサービスと金融規制 (4) クレジットカード決済に関する規制
 - (5) BNPL 等の立替払方式の決済サービスに関する規制(貸金業規制との関係を含めて)
 - (6) 収納代行に関する規制 (クロスボーダーの収納代行を含めて)
- 6. 資金決済ビジネスにおけるマネー・ローンダリング等への対策
- 7. 資金決済ビジネスの将来像

(今後の法改正の動向等により多少変更する場合があります。あらかじめご了承ください。)

藤池 智則(アジイク トモ/リ)氏 略 歴:金融機関及びその関連会社等の金融関連サービスを幅広く担当。 著書に、「企業消費者間の電子的決済と原因関係」(金融法務事情 Vol.1597)、「インターネット・エスクロー決済の法的構成の検討」(NBL No.707)、「事業会社による決済サービスにかかる公法上の規制の検討」(金融法務事情 Vol.1631)、「マルチベイメントネットワークによける口座振替受付サービスにかかる法的検討(上)(下)」(NBL No.747 No.748)、「地方公金に関するマルチベイメントネットワークによる収納サービスの流的概要」(金融法務事情 No.747 No.748)、「他方公々メントネットワークによる収納サービスの流的概要」(金融法務事情 No.818)、「1663)、「キャッシュレス社会の決済サービスにおける加盟店管理のあり方」(金融財政事情 平成 30 年 8 月 6 日・13 日号)、「リテール決済サービスに関するシンガポール決済サービス法の検討一我が国の資金決済法等との比較法的観点から一」(金融法務事情 No.2126)等がある。日本電子決済推進機構法務委員長 日本マルチベイメントネットワーク運営機構法務委員長 ロンドン大学にて LLM 取得

諒(セキダチ マロト)氏略歴:銀行、信託会社、証券会社、投資運用業者、ベンチャーキャピタル、決済事業者などにおける金融法務案件に注力し、海外のフィンテック事業者に対

おも法的 買き 行う。 著書に、「新たな信託ソリューションと法務-円滑な M&A・事業承継のために-」(きんざい、共著)、「スタンダード 営業店の金融法務」(経済法令研究会、共著)、「海外の決済関連サービス の我が国での適応可能性-事業面および法規制面からの検討-」(金融法務事情 Vol. 2126、共著)、「海外の保険テックサービスの我が国での適応可能性-事業面および法規制面からの検討-」(金融法務事情 Vol. 2127、共著) など。カリフォルニア大学バークレー校 LL.M 修改 ※ 公立・レデ オ 提 息 ト デ 満 店 下 カル

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

金融財務研究会 ■主催

Facebook: https://www.facebook.com/keichoken Twitter: https://twitter.com/keichoken05

Blog: https://www.kinyu.co.jp/blog/



販売期間

2026年3月31日(火)まで

※収録日:2025年11月11日(火)【約3時間】

視聴ページのログイン ID を発行後、2週間ご視聴が可能です。 資料は、ログイン後に視聴ページからダウンロードしてご利用いただけます。 (資料の無断複製はご遠慮ください)

参加費

3 5.0 0 0 円 (消費税を含む)

1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名に つき31.000円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申込先

金融財務研究会

ホームページ https://www.kinyu.co.jp/

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリンヒルビル FAX 03-5695-8005 TEL 03-5651-2030

申込方法

【アーカイブ】

上記ホームページの申込欄からお申し込み下さい。参加申込書を FAX 又は郵送い ただいてのお申し込みも承ります。請求書をお送りいたしますので、下記口座にお 振込ください。クレジットカードご利用の場合は、質問欄にその旨をご連絡下さい。 ご入金確認次第、視聴用 URL とログイン ID、パスワードをメールでお送りいた します。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちい たします。)

ご記入いただきました個人情報はセミナーの開催のために使用させていただきますが、漏洩などがな いよう最善の予防、是正に努めます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

口座名 (株)金融財務研究会 普通預金

三菱 UFJ 銀行 本 店 1642356三井住友銀行 本店営業部 7397637 三菱UFJ 信託銀行 本 店 2818151 みずほ銀行 東京営業部 1427715 三井住友信託銀行 本店営業部 2993982 りそな銀行 東京営業部 1693669

◇クレジットカードは Visa、Mastercard、American Express、JCB、Diners Club、 Discover がご利用いただけます。

切らずにこのままお送り下さい

資金決済ビジネスの潮流と資金決済法制 の最新動向

参加申込書

FAX 03-5695-8005

【アーカイブ】 				年	月	日
ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい	会 社 名			TEL FAX		
弊社からのお知らせ、メルマガ		E-Mail				
の送信を □受信する □受信しない	所 在 地	₸				
講師へのメールアドレス開示に	参加者ご氏名		部課名			
□同意する □同意しないクレジットカードをご利用の場合は下記に ✓ を入れて下さい。□クレジットカード利用	"		IJ			
	IJ		11			
	IJ		11			
セミナーコート゛ 143a (Law-k901143a)	書類送付先	ご担当者 TEL	部課。 FAX	名		